

# けいれんの対応について

- ✓ **平らなところに寝かせ**、呼吸が楽になるように衣服をはだけさせる

痙攣時にはつい強く抱いてしまいがちですが、呼吸を整えてあげることが優先になります。

- ✓ 嘔吐物をのみこまないように**顔を横向き**にして、ものを啜えさせない

痙攣時に吐いてしまう子もいます。気管に入るとますます呼吸が悪くなってしまうため、横を向けましょう

- ✓ 出来れば**手足の様子**(左右差、ぴくぴくつきなど)**眼の向き、持続時間**など見ておく

痙攣の種類が診断に結びつくことが多くあります。余裕があれば携帯のビデオなどで撮っておくとよいです。

- ✓ けいれんが**5分以上続く時、何度も繰り返す時、顔色がどんどん青くなる時**は救急車を呼ぶ

これまで熱性けいれんと診断され、ダイアップ座薬の処方を受けている方は、けいれん出現時にまずダイアップ座薬を使用してみましょう。